

医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。

使用上の注意改訂のお知らせ

2025年5月

東和薬品株式会社

抗潰瘍剤・精神神経用剤

日本薬局方 スルピリドカプセル

スルピリドカプセル 50mg 「トーフ」

精神神経用剤

日本薬局方 スルピリド錠

スルピリド錠 100mg/200mg 「トーフ」

このたび、標記製品の使用上の注意を改訂いたしましたのでお知らせいたします。
今後のご使用に際しましては、改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容 (_____ : 追記、 _____ : 削除)

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 10.2 併用注意（併用に注意すること）			10. 相互作用 10.2 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
QT延長を起こすことが知られている薬剤 イミプラミン 等 [11.1.3参照]	QT延長、心室性不整脈等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	本剤及びこれらの薬剤はいずれもQT間隔を延長させるおそれがあるため、併用により作用が増強するおそれがある。	QT延長を起こすことが知られている薬剤 イミプラミン ピモジド 等 [11.1.3参照]	(略)	(略)
ジギタリス剤 ジゴキシン 等 [8.3参照]	ジギタリス剤飽和時の指標となる悪心・嘔吐、食欲不振症状を不顕性化するおそれがある。	本剤の制吐作用による。	ジギタリス剤 ジゴキシン ジギトキシン 等 [8.3参照]	(略)	(略)
ボツリヌス毒素製剤 A型ボツリヌス毒素 B型ボツリヌス毒素	過剰な筋弛緩があらわれるおそれがあり、嚥下障害等の発現が高まるおそれがある。	本剤及びこれらの薬剤は、ともに筋弛緩作用を有するため作用が増強されるおそれがある。	(該当する記載なし)		
モノアミン酸化酵素阻害剤 セレギリン サフィナミド ゾニサミド	相互に作用を減弱させることがある。	脳内ドパミン受容体が遮断される。			
スクラルファート水和物	同時に服用することにより、本剤の効果が減弱するおそれがある。この作用は薬剤の服用時間をずらすことにより、弱まるとの報告がある ¹⁾ 。	本剤が併用薬剤に吸着し、消化管からの吸収が遅延又は阻害される。			

改 訂 後	改 訂 前
23. 主要文献 1) M. W. Gouda, et al. : Int. J. Pharm. 1984; 22(2-3) : 257-263	23. 主要文献 (該当する記載なし)

2. 改訂理由（自主改訂）

相互作用相手薬の記載との整合性を図るため、改訂いたしました。

<記載整備>

「Torsade de Pointes」 ← 「Torsades de Pointes」

今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会の医薬品安全対策情報（DSU）No.336（2025年6月）に掲載の予定です。

最新の電子添文は、医薬品医療機器総合機構のホームページ(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>) 及び
 弊社「東和薬品医療関係者向けサイト」 (<https://med.towayakuhin.co.jp/medical/>) に掲載いたします。
 また、専用アプリ「添文ナビ」で下記GS1バーコードを読み取ることも、最新の電子添文等をご参照いただけます。

カプセル



(01) 14987155176077

錠



(01) 14987155069072

製造販売元

東和薬品株式会社

大阪府門真市新橋町2番11号

【製品情報お問い合わせ先】

学術部DIセンター

TEL 0120-108-932

○●医療関係者向けメール配信サービスのご案内●○

電子添文改訂等の適正使用情報に関するウェブサイト
 更新情報をメールにてお知らせいたします。

<https://med.towayakuhin.co.jp/medical/useful/mail.php>

